

群馬県立歴史博物館年報

第 45 号

令和 5 年度版

群馬県立歴史博物館

目 次

I	事業の概要	1
1	展示活動	1
2	教育普及	12
3	調査・研究	21
4	資料の収集・整理	26
5	利用状況	28
II	組織及び運営	36
1	運営組織	36
2	歳出・歳入決算概要	37

I 事業の概要

1 展示活動

(1) 常設展示

ア 国宝展示室

大項目	中項目	主な展示資料
綿貫観音山古墳の世界	墳丘に立ち並ぶ埴輪群像	埴輪（あぐら男子、正座女子、三人童女、皮袋女子、振分髪男子、鋏持ち男子、鎌持ち男子、盾持ち男子、馬曳き男子、馬、帽子、盾、家）
	東アジアの中の綿貫観音山古墳	突起付甕、銅水瓶
	巨大石室と豪華な副葬品	金銅装大帯、金銀装頭椎大刀、銀錯龍文大刀、金銅心葉形透彫杏葉、金環、銀環、銀空玉、三累環頭大刀、矛身・石突、鉄鏃、挂甲小札、鉄籠手、鉄脛当、鉄胸当、金銅環状鏡板付轡、鉄地金銅張心葉形鏡板付轡、鉄轡、鉄地金銅張鞍金具、鉄壺鐙、鉄板張壺鐙、金銅歩揺付雲珠、金銅歩揺付辻金具、金銅歩揺付飾金具、金銅花卉形鈴付雲珠・辻金具、鉄雲珠、鉄辻金具、須恵器、土師器

イ 原始展示室

大項目	中項目	主な展示資料
遊動する旧石器人	岩宿遺跡の発見	岩宿遺跡土層剥ぎ取り
	狩猟採集民の道具	岩宿遺跡出土石器（複製、原品【国指定】）、石器（下触牛伏遺跡・三和工業団地Ⅰ遺跡・上白井西伊熊遺跡【県指定】・東長岡戸井口遺跡・柏倉芳見沢遺跡・市之関前田遺跡・八ヶ入遺跡ほか）
	移動生活と石器づくり	石器づくり映像、3万5千年前のムラ〔復元画〕、石材サンプル（黒色安山岩、黒色頁岩、黒曜石、チャート、結晶片岩、大山産石英安山岩）
成熟する縄文社会	土器文化と定住生活	縄文土器（白井北中道遺跡【複製品】・波志江中屋敷遺跡・分郷八崎遺跡・中野谷松原遺跡・糸井宮前遺跡・三原田遺跡・矢太神沼遺跡・天神原遺跡・保美濃山遺跡・千網谷戸遺跡ほか）、有舌尖頭器（見立溜井遺跡ほか）、石斧（小島田八日市遺跡）、石鏃（八木沢清水遺跡ほか）、石匙・石錐（糸井宮前遺跡）、ハンバーグ状炭化物（行田大道北遺跡）、凹石・石皿（糸井宮前遺跡）、打製石斧（房谷戸遺跡）、磨製石斧（中村横壁遺跡）、黒曜石原石（糸井宮前遺跡）、ヒスイ大珠（白川傘松遺跡）、中野谷松原遺跡模型
	縄文人の祈り	土偶（天神原遺跡・中栗須滝川Ⅱ遺跡）、獣面把手（上丹生屋敷山遺跡・神保植松遺跡）、土面（本遺跡）、岩版・独鈷石（中栗須滝川Ⅱ遺跡）、石棒（南蛇井増光寺遺跡）

縄文至宝の部屋		土製耳飾り（千網谷戸遺跡）、深鉢（房谷戸遺跡）、石槍（黒熊第5遺跡）、両尖尖頭器（黒井峯遺跡）、ヒスイ（硬玉）製大珠（高崎情報団地Ⅱ遺跡）、「の」の字状石製品（白石大御堂遺跡）、石製垂飾（大上遺跡）、岩版（北米岡遺跡）
農耕社会への道のり	再葬墓の世界	弥生土器（押手遺跡・沖Ⅱ遺跡・上人見遺跡・神保植松遺跡・七日市観音前遺跡ほか）、人歯骨製垂飾（八束脛洞窟遺跡）、石鍬（安養寺森西遺跡）
	水稻農耕文化の展開	炭化米（有馬条里遺跡）、磨製石斧（南蛇井増光寺遺跡・新保遺跡）、石庖丁（荒砥宮川遺跡）、弥生土器（清里庚申塚遺跡・有馬遺跡）、木製農具（新保遺跡）、板状鉄斧（川端遺跡）、新保遺跡模型
	人の移動と社会の再編	鉄剣（有馬遺跡）、鹿角製柄頭（新保田中村前遺跡）、鉄鏃（有馬遺跡ほか）、石戈（古立東山遺跡）、銅戈（三ツ俣遺跡）、銅鏡（長谷津遺跡）、骨角歯牙製品（新保田中村前遺跡）、土器（貝沢柳町遺跡・中居町一丁目遺跡・新保遺跡・荒砥上ノ坊遺跡・東上之宮遺跡ほか）

ウ 古代展示室

大項目	中項目	主な展示資料
東国の開拓と古墳社会	大開発で始まる古墳時代—浅間山噴火、そして古墳登場—	三角縁神獣鏡（川井稲荷山古墳）、舟形木製品（下田遺跡）、石田川式土器（石田川遺跡）、壺形土器（前橋天神山古墳）
	金井東裏遺跡 古墳人、よみがえる	榛名山噴火関連（映像コンテンツ）
	海を渡ってきた馬文化—馬がもたらす「革命」—	韓式系土器（蔵屋敷遺跡）、鉄製轡（西大山遺跡1号古墳）、馬形土製品（高崎情報団地Ⅱ遺跡）同向式画文帯神獣鏡（古海原前1号古墳）
	馬を飼うムラの仕組み—榛名山噴火、日本のポンペイ—	黒井峯・西組遺跡模型
東国の政治と文字文化	古墳から寺院へ—上野国、ここに成立—	馬具・鉄製武器（川額軍原Ⅰ遺跡）、軒丸瓦・文字瓦「放光寺」〔複製〕（山王廃寺）、木簡〔複製〕（藤原宮跡）、唐三彩—陶枕（多田山12号墳）「古代上野国バーチャルツアー」（VRコンテンツ）
	石に刻まれた上野の姿—文字を使って伝えたい—	上野三碑模型、山上多重塔模型、石製紡錘車（矢田遺跡）、鬼瓦（黒熊中西遺跡）文字瓦（上野国分寺跡）
	都と東北を結ぶ道—古代のハイウェイ—	「東山道駅路と上野国」（映像コンテンツ）
	「平安」時代の「不安」—傾きかけた社会—	上野国交替実録帳〔複製〕、「上野国交替実録帳の世界」（映像コンテンツ）

エ 中世展示室

大項目	中項目	主な展示資料
東国武士の原風景	武士団の登場—浅間山の大噴火をきっかけに—	耕作痕地層剥ぎ取り標本 耕作痕遺構面剥ぎ取り標本
	災害からの復興と信仰—ピンチをチャンスに—	新田義重讓状〔複製〕、新田義重置文〔複製〕、虚空蔵菩薩懸仏、虚空蔵菩薩坐像、赤城大明神御本地、

		小鳥が島出土鏡、虚空蔵菩薩坐像（懸仏）
	石に込められた仏への願いー路傍に残る祈りの証ー	石造不動明王立像〔複製〕、五輪塔（水輪）未製品、五輪塔（火輪）半製品、宝篋印塔（相輪欠）、宝篋印塔、五輪塔、仁治の碑〔複製〕
	長楽寺の門前の宿、世良田ーお寺の前は大にぎわいー	普光庵出土蔵骨器（古瀬戸瓶子）、伝新田義貞倚像、栄朝禅師倚像〔複製〕
大乱の始まり	新田氏から上杉氏へー武士の政権交代？ー	新田義貞と南北朝の動乱（シアター）、太平記絵巻〔複製〕、鎌倉府執事奉書（長楽寺文書）〔複製〕、鎌倉公方家寄進状（長楽寺文書）〔複製〕、長尾憲明寄進梵鐘、阿弥陀如来像（上染屋八幡神社蔵）複製、碁盤（伝上杉頼定所用）、釣り鐘型瓦灯、銅製花瓶、銅製火舎香炉
	人が動き、文化が広まるー上州にもたらされた都の香ー	青磁碗、青磁小皿、白磁小皿、白磁八角杯、渥美蓮弁文壺、銭、古瀬戸瓶子（蔵骨器）、古芦屋霰窯、天目茶碗、青磁大皿、青白磁梅瓶
	中世の上州ブランドー都も注目のお国自慢ー	小侍従書状〔複製〕、砥石、鉄黒漆塗六十二間小星兜、鉄黒漆塗六十二間小星兜、金箔押六十二間小星兜、鉄黒漆塗六十二間小星兜、戦国上州の兜コンテンツ、雪下胴具足、
戦乱から統一へ	したたかな戦国の領主ー地域の殿様の底力ー	関東幕注文〔複製〕、上杉謙信書状
	戦国の城とは？ーこれでもお城と呼ばれますー	内耳鍋、中国産磁器片（青磁碗・白磁碗・青磁香炉）、国産陶器片（皿・壺・碗）、茶臼（上臼）、砥石、神保植松城模型
	ある老僧の手記ー隣り合わせのいくさと日常ー	長楽寺永禄日記〔複製〕

オ 近世展示室

大項目	中項目	主な展示資料
泰平の世の始まり	江戸の北を守る上野国ー家康にとっての重要拠点ー	井伊直政画像〔複製〕、金小札黒糸威具足、松平直賢黒印状
	江戸時代の農民のくらしとは？ー田を増やせ 水を引けー	農耕図、上野国利根郡上川場村之内谷地組御検地水帳、高札（キリシタン訴人）、力田遺愛碑〔複製〕
躍動する民衆	都に負けない自慢のシルクー日本一への道ー	蚕養育手鑑、猫絵、座繰り、関東市町定日案内、桐生書上家織物取引図、前橋藩糸商人仲真鑑札、蚕養草、書上清助像
	近世物流の一大拠点ー陸運・水運“つながり”はここにあり！ー	中山道分間延絵図〔複製〕、中仙道御下向御休泊御本陣附、関所通行手形、旅枕、高瀬舟〔模型〕、利根川図志、倉賀野宿・河岸復元模型、水陸交通の十字路・上州〔映像〕
	祈りの旅・癒しの湯ー何を求めて上野へ？ー	日本名山図会、上野国赤城山之図、諸国温泉功能鑑、伊香保温泉道中図
	華開く郷土文化ー知りたい、学びたい、楽しみたいー	小八木人形、渋川往来、括要算法、毛翁法筆、算額
動揺する武家社会	天明の飢饉と火山災害ーまたもや噴火 浅間山ー	上福島中町遺跡出土遺物、日本の諸特徴、浅間山吹出之絵図
	ついに開国 上野国やいかに！ーあなたの知らない下仁田戦争ー	水戸天狗党絵巻〔複製〕、一揆勘弁の木札、ガラス器

カ 近現代展示室

大項目	中項目	主な展示資料
群馬の文明開化	日本の産業革命 - 富岡に製糸場が	富岡製糸場模型、富岡日記音声
	明治の大改革 - 群馬県誕生	吉井藩版籍奉還関係資料（複製）、群馬県治一覧表、修身説約
	養蚕技術は群馬から - 蚕を科学する	養蚕日誌、第五回内国勸業博覧会名誉金牌授与状（養蚕改良高山社）、繭標本、蚕体模型、桑模型、蚕種模型
	蚕がつなぐ海の向こう - 群馬がみた世界、世界がみた群馬	英国議会調査報告書、ドイツ製顕微鏡、続養蚕新論、版画「横浜各国商館真図」、版画「上野高崎間鉄道之図」
戦争とくらし	群馬の軍事施設 - 戦争の足音が聞こえる	岩鼻火薬製造所関係資料（耐酸陶磁器、火薬箱、爆発事故一覧表、保育証）、中島飛行機関係資料（木製プロペラ、少年工員大募集ポスター、疾風模型）
	戦時下の生活 - あれも、これも、勝つために	恤兵金献納箱、桑皮ズボン、紙芝居「銃後の子供達」、千人針、東京都集団疎開資料、アメリカ軍投下ビラ
新しい群馬の息吹き	戦後復興のシンボル - 群響と上毛かるた	群馬交響楽団関係資料（コントラバス、ティンパニー、定期演奏会パンフレット）、上毛かるた関係資料（旧版一枚刷り、県大会優勝旗、上毛かるたと県内の絵葉書）
	高度経済成長 - 便利な製品、変化するくらし	スバル 360、三種の神器（白黒テレビ、電気洗濯機、電気冷蔵庫）、【空間造作】昭和のくらし、【映像】昭和 30～40 年代の群馬県内の映像
	いまを生きる時代へ - みんなでつくる歴史（これから）	【映像】県内各地（高崎市・館林市・神流町・嬬恋村）の明治から平成までの変遷

キ デジタル埴輪展示室

大項目	中項目	主な展示資料
塚廻り古墳群の埴輪	儀礼に臨む巫女	左手を挙げる巫女（4号墳）
		大刀を持つ巫女（4号墳）
	椅子に座る首長と巫女	椅子に座る巫女（3号墳）
		椅子に座る男子（3号墳）
	椅子に座る主人と跪く従者	椅子に座る男子（4号墳）
		跪く男子（4号墳）
馬子と飾り馬	左手を挙げる男子（4号墳）	
	飾り馬（4号墳）	

(2)企画展示・特別展示

ア 春の特別展「安中藩の名奉行」

(ア) 期間 令和5年4月15日(土)～6月4日(日)

(イ) 会場 群馬県立歴史博物館 企画展示室

(ウ) 展示構成

第1章 奉行の装い

刀 肥前国住近江大掾藤原忠廣 寛文元年二月吉日(猪狩家資料)、陣羽織(猪狩家資料)、
測量器具(猪狩家資料)、馬具関係資料(猪狩家資料)、中山道御下向之図(当館蔵)

第2章 奉行の教養

甘雨亭叢書、資治通鑑、観世流謡曲本、論語、日本政記(以上、猪狩家資料)

(エ) 資料点数 56件321点

(オ) 頒布品・出版物等

パンフレット：A4判4頁無償配布

(カ) 関連行事

■講演会「安中藩主板倉勝明と「藩政改革」」

講師：小嶋 圭 氏(群馬県文化財保護課)

日時：5月14日(日)14:00～15:30

会場：群馬県立歴史博物館 視聴覚室

定員：140名(1か月前より電話予約)

■スペシャルギャラリートーク 資料を整理した専門家による展示解説

講師：中山 剛志 氏(群馬県立渋川青翠高等学校)

日時：4月30日(日)14時00分～、約30分程度

会場：群馬県立歴史博物館 視聴覚室 企画展示室

定員：先着70名

■ギャラリートーク

担当：森田真一(当館学芸係)

日にち：5月7日(日)、5月28日(日)

時間：14時00分～、約30分程度

会場：群馬県立歴史博物館 視聴覚室

定員：先着70名

(キ) 入館状況

期間中の観覧者数5,851人 一日平均130人

イ 第108回企画展「れきはく生き物大集合☆ **おまけ** 子どものための展示「れきはく^{きも}肝だめし」

(ア) 期間 令和5年7月8日(土)～8月27日(日)

(イ) 会場 群馬県立歴史博物館 企画展示室

(ウ) 展示構成

【企画展示室1】れきはく生き物大集合☆

第1章 食べる

オオツノジカ全身骨格、旧石器時代の狩猟具(ナイフ形石器、槍先形尖頭器など)、縄文時代の狩猟具(石鏃など)、寺西貝塚出土貝殻、漁労具(ヤス、ウケ、ド、投網)、狩猟用箱罟

第2章 使う

古墳出土馬具、高崎藩主所用馬具、農耕用荷鞍、養蚕用羽、蚕児品種模型、桑切庖丁・台、蚕種模型、蚕模型、瀬戸美濃壺（薬用昆虫入り）、預け箱・熊胆薬袋、ツキノワグマ剥製、ニホンカモシカ剥製など

第3章 祈る

犬形埴輪（複製）、馬形埴輪、鷹匠埴輪〔市重文〕（太田市教育委員会蔵）、鶏形埴輪〔国重文〕、鹿占神事鹿骨・御占方、新田猫絵、猿の頭骨など

第4章 愛でる

「花鳥図」、「虎之図」、「蟬吟図」、版画「源頼朝牧狩の図」

月岡芳年「新形三十六怪撰 茂林寺の文福茶釜」、郷土玩具（各地の張り子・土人形など）

【企画展示室2】

おまけ 子どものための展示「れきはく肝だめし」

桑模型、折本「暁斎百鬼画談」、河童頭部（復元品）、版画「河童図」、錦絵「源頼光の館に土蜘蛛妖怪を現す」、「羅生門図」など

(エ) 資料点数 159 点

(オ) 頒布品・出版物等

図録：B5 変形判 96 頁有償配布（税込 850 円）

(カ) 関連行事

・連続講演会

第1回 7月29日（土） 講師：県立ぐんま昆虫の森 金杉隆雄昆虫専門員

演題：「暮らしの中の虫たち」

第2回 8月12日（土） 講師：東海大学人文学部 丸山真史准教授

演題：「人と動物の考古学」

第3回 8月20日（日） 講師：当館 右島和夫特別館長

演題：「馬と牛と人の歴史」

・特別企画 落語会（2回）

第1回 柳家小もん氏 令和5年7月23日（日）

第2回 林家つる子氏 令和5年8月6日（日）

・スペシャルトーク

タイトル：貫前神社と鹿占神事

講師：神保侑史氏（辛科神社宮司）

日時：令和5年7月15日（土）

・学芸員ギャラリートーク（4回）

7月9日（日） 絵画・歴史資料 7月30日（日） 歴史資料

8月13日（日） 民俗資料 8月26日（土） 考古資料

(キ) 入館状況

期間中の観覧者数 11,763 人 一日平均 261 人

ウ 第 109 回企画展「温泉大国ぐんま」

(ア) 期間 令和 5 (2028) 年 10 月 7 日 (土) ～11 月 26 日 (日)

(イ) 会場 群馬県立歴史博物館 企画展示室

(ウ) 展示構成と代表的な展示資料 ※カッコ書きのない資料は全て当館蔵

第 1 章 温泉との出会い—いのちの共存—

アオバト剥製 (中之条町歴史と民俗の博物館「ミュゼ」)、日本書紀、万葉集
延喜式神名帳、竹取物語、日向見薬師堂絵馬 (宗本寺)、
日向見薬師堂木彫十一面観音坐像 (宗本寺)、
北国紀行 (群馬大学総合情報メディアセンター図書館)、手下駄 (温泉寺)

第 2 章 江戸時代 温泉あれこれ

1 節 いざ、民衆(われわれ)も温泉へ

伊香保温泉道中図、上野国碓氷郡上磯辺村与中野谷村就野論裁断之覚
伊香保八景 (徳富蘆花記念文学館)

2 節 お殿様だって入りたい

松平輝貞 木像、【パネル展示】私儀就病気湯治願之儀願之通御差図被下ニ付御礼一
札 (国立公文書館)、酒井忠恒《老松図》

第 3 章 文明開化と変わりゆく温泉

1 節 大公開！温泉絵図コレクション

上州伊香保温泉名所旧跡、上州磯部鉦泉場之略図

2 節 あの人もこの人も温泉へ

伊香保温泉繁栄之図、松本宏洞《飛泉図》、夢二画集 春の巻

3 節 湯治と医療—社会の変化—

ベルツ『日本鉦泉論』 (徳富蘆花記念文学館)
栗生楽泉園重監房跡の発掘調査出土品 (重監房資料館)

第 4 章 伝えたい記憶

1 節 伝統技術と温泉

こんこん草履等ネドフミ関連資料 (中之条町教育委員会・ねどふみの里)

2 節 昭和のおもてなし

あかぎ国体関連資料、草津温泉旅館関連資料

3 節 整理しました！1270 枚

絵はがき

(エ) 資料点数 104 件 (142 点)

(オ) 頒布品・出版物等

図録：A4 判 150 頁有償配布 (税込 1,400 円)

リーフレット：A5 判 4 頁 無償配布

(カ) 関連行事

① 講演会

第 1 回

日時：10 月 8 日 (日) 13:30～15:00

講師：関戸明子 氏 (群馬大学共同教育学部 教授)

演題：明治・大正期の群馬の温泉地を旅する

第 2 回

日時：10 月 22 日 (日) 13:30～15:00

講師：齊藤 純 氏 (天理大学文学部 教授)

演題：温泉発見伝説を考える—杖立清水と動物の導き—

第3回

日時：11月18日（土）13：30～15：00

講師：日下裕弘（茨城大学 名誉教授）

演題：レッツ・エンジョイ！日本の名湯・世界の Onsen

② 右島特別館長スペシャルトーク

日時：10月14日（土）13：30～15：00

講師：右島和夫（当館特別館長）

演題：温泉の考古学的アプローチ

③ 担当学芸員による展示解説

日時：10月29日（日）、11月4日（土） 各回14：30～（30分程度）

企画担当：江原幸太郎（当館学芸員）

(キ) 入館状況

期間中の観覧者数 8,211 人 一日平均 187 人

オ 新春特別展「新春はにわ祭り」

(ア) 期間 令和5年12月16日（土）～令和6年1月28日（日）

(イ) 趣旨

群馬県の埴輪の見つかった古墳の数は2000基に及ぶといわれ、日本一である。また国の重要文化財に指定されている埴輪の実に4割が群馬県出土であり、群馬県は出土埴輪の質と量において、まさに「埴輪大国」といえる。

これに基づき、2018年7～9月にかけて、群馬県内出土の埴輪100体の人気投票を行うイベント「HANI-1 グランプリ」が開催され、県内外から約6万票の投票があった。

この度、「HANI-1 グランプリ」上位入賞の埴輪をはじめ県内の個性的な埴輪を一堂に集めるとともに、当館所蔵・保管の多様な埴輪資料を合わせて展示し、「埴輪大国」ぐんまの実像に触れる機会を創出したいと考える。

(ウ) 主催 群馬県立歴史博物館

(エ) 会場 群馬県立歴史博物館 企画展示室

(オ) 展示構成と主な展示資料

【1 人気はにわ勢ぞろい】

「HANI-1」上位埴輪展示

【2 ぐんまのはにわいろいろ】

古墳時代の群馬に馬がいた？

塗られた色の材料は？

こういう家に住んでいたの？

弓が埴輪になったのは…？

男女の表現のちがいは？

この動物がなぜ埴輪に？

円筒埴輪の役割は？

はにわのかけらクイズ

特別展示 群馬大学における古墳発掘と埴輪

(カ) ギャラリートーク：視聴覚室にて当館学芸係による展示解説

12月24日（日） 10時・15時 各30分

1月 6日（土） 10時・15時 各30分

1月 8日（月祝） 10時・15時 各30分

1月14日（日） 10時・15時 各30分

1月20日(土) 10時・15時 各30分

(カ) 展示資料点数：52件64点

(キ) 観覧者数：10,280人 一日平均：312人

カ 子どものための特集展示「昭和の暮らし」

(ア) 期間 令和5年12月16日(土)～令和6年1月28日(日) [開催日数33日]

(イ) 趣旨

当館所蔵の昭和時代を中心とする生活道具を展示し、あわせて当時の生活の場を一部再現することで、時代とともに変化してきたくらしの様子を紹介した。子どもたちの祖父母世代や親世代が実際に使用していた生活道具を展示し、また道具の思い出を付箋に書いて紹介するコーナーを設けることで、昭和のくらしを家族や友人と語り合う交流の場とした。

小学校3・4年生の社会科学習内容「市の様子と人々のくらしのうつりかわり」に基づく体験プログラム「むかしの道具体験」を学校団体向けに実施した。

(ウ) 主催 群馬県立歴史博物館

(エ) 会場 群馬県立歴史博物館 企画展示室2

(オ) 展示構成と主な展示資料

【蚊帳の間】

蚊帳、布団、行李、ほか

【昭和30年代の茶の間】

こたつ、茶箆筥、真空管ラジオ、鏡台、黒電話、足踏みミシン、レトロ風テレビ、ほか

【昭和50年代の応接間】

テーブル、ソファ、サイドボード、カラーテレビ、ステレオ、マガジンラック、ほか

【洗濯の道具】

井戸、手回し洗濯機、ローラー式洗濯機、二槽式洗濯機、ほか

【炊飯の道具】

かまど、お釜、おひつ、電気釜、保温ジャー、電気炊飯器、ほか

【昭和レトロから平成レトロへ】

黒電話、花柄の調理器具(保温ジャー、魔法瓶)、携帯電話、インスタントカメラ、ほか

【昭和初期に使われた道具】

火鉢、あんか、こて、火のし、炭火アイロン、氷冷蔵庫、くけ台、針箱、ほか

【昭和20年代～30年代に使われた道具】

かいまき、豆炭あんか、電気アイロン、蠅帳、白黒テレビ、電気冷蔵庫(1ドア)、ほか

【昭和40年代～50年代に使われた道具】

ガスストーブ、電気あんか、蛍光灯、レコードプレーヤー、電気冷蔵庫(2ドア)、ほか

【昭和60年代から平成に使われた道具】

ラジカセ、ポータブルテレビ、ワープロ、携帯音楽プレーヤー、ほか

【昭和～平成のおもちゃコーナー】

ゲーム機、人形、ボードゲーム、ほか

(カ) 展示資料点数：約120点

(キ) 観覧者数：10,280人 一日平均：312人

(3)展示解説

ア 解説員解説

解説員による定時解説は、原則毎日実施した（イベント等により開催しない場合もあった）。内容は、7月21日までは国宝「綿貫観音山古墳出土品」についての解説、7月22日から土日祝日は常設展示室の通覧解説、平日の午前は国宝について、午後は通覧解説とした。どちらの内容も視聴覚室のスクリーンに画像を投影して解説した。

団体向けの予約解説も同様に、国宝「綿貫観音山古墳出土品」について、または通覧解説を視聴覚室のスクリーンに画像を投影して解説した。

企画展の三品解説は、実施しなかった。

イ 学芸員解説

春の特別収蔵品展、第108回企画展、第109回企画展、新春特別展において、学芸員によるギャラリートークを企画展示室で行った。

解説実施件数と人数

	定時解説		予約解説		学芸員解説		解説計		質問解説
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数
4月	19	166	1	20	2	67	22	253	28
5月	32	203	0	0	3	62	35	265	49
6月	12	59	0	0	0	0	12	59	7
7月	21	148	3	73	3	70	27	291	15
8月	22	220	3	43	2	17	27	280	16
9月	20	157	1	25	0	0	21	182	9
10月	19	158	0	0	1	216	20	374	28
11月	21	151	1	22	1	26	23	199	15
12月	15	121	0	0	1	37	16	158	7
1月	18	294	0	0	4	30	22	324	23
2月	0	0	0	0	0	194	0	194	0
3月	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	199	1677	9	183	17	719	225	2579	197

*定時解説は、1日2回（午前11時～、午後2時～）30分程度行う常設展示解説。

*予約解説は、団体等の事前申込による解説希望に対して解説員が行う常設展示解説。

*三品解説は、企画展の展示資料を15分程度で解説するもの。

*学芸員解説は、学芸員が行う常設展示解説及び企画展示解説（ギャラリートーク）。

*質問解説は、解説員が観覧者の質問に答えたり、説明したりするもの。

ウ 展示資料Q&A

特別展及び企画展においては、解説員が手書きで作成した「展示資料 Q&A」を展示資料の前に設置し、来館者が自由に持ち帰ることができるようにした。

展示資料 Q&A 配布枚数

(枚)

VOL.	春の特別展示	第 108 回企画展	第 109 回企画展	新春特別収蔵品展 子どもための特集展示
1	1888	1947	1505	1420
2	1654	1988	1732	1983
3	1640	1500	1366	1405
4	1570	1422	1660	1954
5	1736	1648	1523	2001
-	-	-	-	-
計	8488	8505	7786	8763

2 教育普及

(1) 学校教育との連携

「たくましく生きる力をはぐくむ～自らの可能性を高め、互いに認め合い、共に支え合う～」(令和5年度群馬県学校教育の指針)を基本目標とする学校に対して、次のとおり事業を実施し学校教育との連携強化に努めた。

ア 学校団体の利用促進のための広報活動

県内小・中・特別支援学校および県外小学校等に、学校向け利用案内パンフレットを配布した。また、子どものための教育展示「昭和の暮らし」のチラシを社会科の学習内容とリンクする県内の小学校3年生全員に配布し、歴史博物館の利用を呼びかけた。

イ 学校向け学習・体験プログラムの実施

(ア) 歴史を楽しむためのワークブック・ワークシートの活用

国宝展示室を見学する小学校高学年向けに「はにわ・古墳探検」、常設展示室を見学する小学校中学年向けに「れきしたんけん」の2種類のワークブックを作成し、職員・解説員がわかりやすく説明した。

また、常設展示室を見学する小学校高学年・中学生向けに3種類のワークシートを作成し、展示資料の理解と歴史学習の一助とした。

(イ) 「むかしの道具体験」の実施

学習室および企画展示室で、「むかしの道具カード」を用いた体験学習を実施した。

(ウ) 「浮世絵多色刷り」の実施

学習室で、群馬の宿場町を描いた浮世絵多色刷りの体験学習を実施した。

(エ) 「くらしと明かり」の実施

視聴覚室でろうそく・石油ランプ・白熱灯の明るさを再現し比べる体験学習を実施した。

(カ) 「火おこし体験」の実施

中庭で、火おこしを通じて、人と火との歴史について学ぶ体験学習を実施した。

ウ 職場体験の生徒受入れ

学校見学の補助、受付業務、土器洗浄等の機会を提供した。

エ 近代美術館との連携

隣接する近代美術館の展示見学とローテーションを組んで、両館を利用できるようにした。

オ 小学校への指導者派遣「出張！浮世絵体験」の実施

小学校6年生向けに、浮世絵多色刷り体験を通して歴史を学べるプログラムを用意し、28校に指導者を派遣した。

カ オンライン授業の実施

オンライン授業では、ウェブ会議ツールを活用して22校にオンライン授業を提供した。小学校6年生向けには、常設展示室で歴史の大きな流れがつかめるようツアーガイドの形で実施し、小学校3年生向けには企画展示室「昭和の暮らし」の展示を活用し、昔の道具を通じてくらしの移り変わりを紹介した。

キ 学校等利用実績

区分	県内		県外		計	
	校数	人数	校数	人数	校数	人数
幼稚園・保育園	1	17	0	0	1	17
小学校	59	3,145	32	2,388	91	5,533
中学校	3	59	0	0	3	59
高等学校・大学等	6	63	1	7	7	70
総計	68	3,267	33	2,395	101	5,662

(2)セミナー

ア 企画展等に伴う講演会

・春の特別収蔵品展

種類	演題等	講師	日付	参加者数
講演会	安中藩主板倉勝明と「藩政改革」	小嶋圭（群馬県文化財保護課 主任）	5月14日（日）	84名

種類	演題等	講師	日付	参加者数
スペシャルギャラリートーク	資料を整理した専門家による展示解説	中山剛志（群馬県立渋川青翠高等学校 教諭）	4月30日（日）	40名

種類	演題等	講師	日付	参加者数
ギャラリートーク	当館学芸員による展示解説	森田真一（当館 学芸員）	5月7日（日）	30名
			5月28日（日）	20名

・第108回企画展

種類	演題等	講師	日付	参加者数
講演会①	暮らしの中の虫たち	金杉隆雄（県立ぐんま昆虫の森昆虫専門員）	7月29日（土）	28名
講演会②	人と動物の考古学	丸山真史（東海大学人文学部准教授）	8月12日（土）	45名
講演会③	馬と牛と人の歴史	右島和夫（当館特別館長）	8月20日（日）	60名

種類	演題等	講師	日付	参加者数
落語会①	—	柳家小もん	7月23日（日）	113名
落語会②	—	林家つる子	8月6日（日）	125名

種類	演題等	講師	日付	参加者数
スペシャル トーク	貫前神社と鹿占神事	神保侑史(辛科神社宮 司)	7月15日(土)	54名

・第109回企画展

種類	演題等	講師	日付	参加者数
講演会	明治・大正期の群馬の温 泉地を旅する	関戸明子(群馬大学共 同教育学部 教授)	10月8日(日)	66名
講演会	温泉発見伝説を考えるー 杖立清水と動物の導きー	齊藤 純(天理大学文 学部 教授)	10月22日(日)	42名
講演会	レッツ・エンジョイ!日 本の名湯・世界のOnsen	日下裕弘(茨城大学 名誉教授)	11月18日(土)	42名
スペシャル トーク	温泉の考古学的アプロ ーチ	右島和夫(当館 特別 館長)	10月14日(土)	25名

・新春特別展

種類	演題等	講師	日付	参加者数
講演会	なぜ群馬の埴輪は日本一 すばらしいのかーその回 答は埴輪と共に歩んだ群 馬の古墳時代の歴史の中 にあるー	右島和夫(当館 特別 館長)	1月7日(日)	82名
イベント	HANI-1 グランプリ・トー クショー	深澤敦仁(当館 学芸 係長)・鈴木徹也(県 eスポーツ・クリエイ ティブ推進課主監)・ 酒井玲美(県農業構造 政策課主幹)	12月24日(日)	40名
イベント	内藤聡さんと語るはにわ のミリョク	内藤聡(ラジオパーソ ナリティ)・深澤敦仁 (当館 学芸係長)	1月14日(日)	140名

・木曜講座

種類	演題等	講師	日付	参加者数
講演会	① 武田信玄	笹本正治(長野県立歴 史館 特別館長)	11月25日(木)	110名
講演会	② 北条氏照	柳沢誠(八王子市郷土 資料館 文化財専門 員)	12月21日(木)	77名
講演会	③ 小笠原貞慶	山本隆志(筑波大学 名誉教授)	1月11日(木)	68名

(3)ワークショップ

ア 体験プログラムの目的

- ・自らの体を動かし、五感を通して挑戦したり製作したりすることで、より深い達成感や感動を味わい、生きる力を育成する。
- ・過去の人間の生き方や願い、生活の知恵に根ざした伝統的な風習を体験的に学ぶことで、祖先への畏敬と親近感を深め、歴史や民俗に対する興味・関心を高める。
- ・参加体験型の学習形態により、体験者と職員・家族等とのコミュニケーションを通して、主体的に楽しく学習できる博物館を目指す。
- ・展示に関連した情報を提供することにより、体系的・共通体験的に来館者の展示に関する理解を深める。

イ 体験プログラム等の形態と実施場所

個人の来館者に対応した体験（れきはくワークショップ等）……学習室

ウ 体験プログラム等の内容と体験者数(令和5年度)

【れきはくワークショップ】 1日6回（1回30分程度）定員入替制

（①10：00、②10：45、③11：30、④13：00、⑤13：45、⑥14：30）

プログラム名	内容・ねらい	体験者数
和とじ風豆本 4/15～5/7の土・日・祝 日	春の特別収蔵品展「安中藩の名奉行」の展示資料である典籍に関連して、和とじ風豆本作りを行うことで、江戸時代の奉行の教養や当時の文化への興味・関心を高める。	527 人
遠めがね風スコープ 5/13～6/4の土・日	春の特別収蔵品展「安中藩の名奉行」の展示資料である遠めがねに関連して、遠めがね風スコープ作りを行うことで、江戸時代の奉行の教養や当時の文化への興味・関心を高める。	258 人
くるくるこふんモビール 作り 6/10～7/2の土・日	埴輪や古墳に関連して、くるくるこふんモビール作りを行うことで、古墳が作られた経緯や現在の様子、独特な形などに着目したり、埴輪の種類などを紹介したりして、群馬の古墳や埴輪への興味・関心を高める。	216 人
ひょっこりコーナーしお り 7/8、9 7/15～7/30の開館日毎日	第108回企画展「れきはく生き物大集合☆」と、子どものための展示「れきはく肝だめし」の中の展示資料である張り子等に関連して、コーナーしおり作りを行うことで、歴史資料の中に登場する生き物の姿への興味・関心を高める。	618 人
妖怪スタンプミニうちわ 8/1～8/16の開館日毎日	子どものための展示「れきはく肝だめし」の展示資料である浮世絵等に関連して、妖怪スタンプミニうちわ作りを行うことで、歴史資料の中に登場する妖怪の姿への興味・関心を高める。	1519 人
どうぶつプラ板クリップ 8/17～8/27の開館日毎日	第108回企画展「れきはく生き物大集合☆」の展示資料である張り子に関連して、どうぶつプラ板クリップ作りを行うことで、歴史資料の中に登場する生き物の姿への興味・関心を高める	876 人

ポンポンこふんワッペン作り 9/2～10/1の土・日・祝日	古墳に関連して、ポンポンこふんワッペン作りを行うことで、古墳が作られた経緯や現在の様子、独特な形などに着目したり、埴輪の種類などを紹介したりして、群馬の古墳や埴輪への興味・関心を高める。	197人
浮世絵スタンプファイル 10/7～10/29の土・日・祝日	第109回企画展「温泉大国ぐんま」の展示資料である浮世絵に関連して、浮世絵スタンプファイル作りを行うことで、群馬の温泉文化や温泉地への興味・関心を高める。	230人
こんこんぞうり風クリーナー 11/3～11/26の土・日・祝日	第109回企画展「温泉大国ぐんま」の展示資料であるこんこん草履に関連して、こんこんぞうり風クリーナー作りを行うことで、群馬の温泉文化や温泉地への興味・関心を高める。	221人
まが玉ストラップ 12/16、17と 12/23～1/8の開館日毎日	新春特別展「新春はにわ祭り」の展示資料である埴輪に関連して、まが玉ストラップ作りを行うことで、群馬の埴輪への興味・関心を高める。	1511人
HANI たこ作り 1/13～1/28の土・日・祝日	新春特別展「新春はにわ祭り」の展示資料である埴輪に関連して、HANI たこ作りを行うことで、群馬の埴輪への興味・関心を高める。	530人
古墳ちゃんバンド 3/23～3/31の土・日	古墳に関連して、古墳ちゃんバンド作りを行うことで、古墳が作られた経緯や現在の様子、独特な形などに着目したり、埴輪の種類などを紹介したりして、群馬の古墳や埴輪への興味・関心を高める。	153人

【れきはくワークショップ+】 15時30分～16時30分

プログラム名	内容・ねらい	体験者数
おどるはにわ作り 7/29、30 8/5、6、11、19、20、26	夏休み期間中に、小学生を対象としたおどるはにわ作りを行うことで、群馬の埴輪に対する関心を高める。	161人

体験学習 実施人数合計	7017人
-------------	-------

エ 指導者

職員の他、一般県民から募集した『体験学習ボランティア』の協力により実施している。

(4)イベント

ア イベントの目的

- ・新規利用者の獲得
- ・企画展等の関連行事
- ・入館者の満足度向上
- ・利用者のニーズへの対応
- ・記念行事や周年行事
- ・地域との連携
- ・博物館の広報宣伝

イ 館内イベントの内容と参加者数

イベント名	内容	参加者数
夏のれきはくクイズラリー 「発見！れきはくの生き物☆」	第108回企画展「れきはく生き物大集合☆」の展示資料について、クイズを解きながら鑑賞するクイズラリーを実施。チラシ裏面の塗り絵を持参するイベントも同時開催。	8,487人 【39日間】
こどもセミナー	大室古墳群について、現地で講師の話を聞いたり関連施設を見学したりする。	44人 【2日間】
高校生ワークショップ	高校生を対象に、考古学と歴史学の視点から歴史にアプローチする方法を紹介。	15人 【2日間】
群馬県民の日限定イベント 「アオバトスタンプしおり作り」	第109回企画展「温泉大国ぐんま」の展示資料「アオバト剥製」をモチーフとしたスタンプを押すしおり作りを実施。	552人 【1日間】
冬のれきはくクイズラリー 「はにわ・昭和のくらしたんけん」	新春特別展「新春はにわ祭り」及び子どものための特集展示「昭和のくらし」の展示資料について、クイズを解きながら鑑賞するクイズラリーを実施。チラシ裏面の塗り絵を持参するイベントも同時開催。	6,913人 【18日間】

ウ 館外イベントの内容と参加者数

館外イベントは実施しなかった。

(5) ボランティア

歴史博物館ボランティアは、次の活動に従事している。

- ・体験ボランティア…体験学習の学習者に対する支援、指導、準備

ア 概要

一般ボランティアは令和6年3月末現在、78名が登録している。土・日曜日、祝日の活動が中心で、歴史や社会貢献、社会的有用労働に興味を持っている人の参加が多い。年代別に見ると、中高年の参加者が全体のおよそ1/3であり、退職後に社会のために何か役立ちたいという理由でボランティア活動を始めた方が多い。ちなみに最高年齢は80歳である。残る2/3は高校生、大学生年代の参加者である。今年度は特に若年層参加者の増加が顕著であった。

また、今年度はコロナ禍の状況に留意しつつも、上期から平日の学校団体向けの体験学習においてもボランティアに参加していただけた。

ボランティアの居住地は、当館から1時間程度の市町村（高崎市・前橋市・藤岡市・伊勢崎市・玉村町）が多いが、一部は東毛地区（太田市）、県外（深谷市）から長時間かけて参加するボランティアもいた。

夏休み期間の高校生ボランティア（県内高校生）の募集については新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から今年度も見送った。

イ 年間の活動人数

体験ボランティア …延べ320名超の一般ボランティアが活動。一般向けワークショップと学校団体向け体験学習支援として、活動（4月～3月）。

高校生ボランティア…新型コロナウイルス感染拡大防止等のため、高校生ボランティアの募集は見送った。

ウ 研修会の実施

一般向けワークショップ支援を円滑に進めるために、ボランティア参加の初日に新しい内容になるたびに研修的参加をお願いした。コロナ禍対策の影響から、集会的研修会の実施は見送った。

エ その他

- ・ボランティアには館から食費・交通費の支給はない。
- ・ボランティアへの連絡のため、月一回程度、「れきはくボランティアだより」を発行し、裏面には「ボランティア活動予定表」を記載した。

(6) 広報活動

ア ちらし配布

県内各小・中・義務教育・中等教育・特別支援・高等学校、県内教育機関、県内行政機関、県内文化会館、県内各市町村公民館、県内外博物館、県内図書館、県内報道機関、県内観光施設等

イ 歴史博物館カレンダー配布

県内各小・中・義務教育・中等教育・特別支援・高等学校、県内教育機関、県内行政機関、県内文化会館、県内各市町村公民館、県内外博物館、県内図書館、県内報道機関、県内観光施設等

ウ 県メディアプロモーション課関係広報

ぐんま広報、グラフぐんま、ぐんま情報トッピング、県公式アカウント SNS 等

エ 県内報道機関へのPR

上毛新聞本社、読売新聞前橋支局、朝日新聞社前橋総局、毎日新聞社前橋支局、産経新聞前橋支局、東京新聞前橋支局、日本経済新聞社前橋支局、上毛新聞ぱれっと編集室、上毛新聞タカタイ編集室、朝日ぐんま、群馬よみうり、日本放送協会前橋放送局（出演を含む）、群馬テレビ（出演を含む）、エフエム群馬（出演を含む）、ラジオ高崎（出演を含む）等

オ 広報誌掲載

タウン情報誌、月刊情報誌、歴史関連雑誌等

カ 企画展図録配布

県内教育機関、県内各市町村教育委員会、県内外博物館、県内図書館、国関係機関等

キ 紀要配布

県内教育機関、県内各市町村教育委員会、県内外博物館、県内図書館、国関係機関等

ク 年報をホームページに掲載

年報を当館ホームページに PDF ファイルで掲載

ケ 学校団体利用促進広報

県内小・中・義務教育・中等教育・特別支援学校、県内教育機関、県内各市町村教育委員会、
県外（埼玉、東京、神奈川等）小学校への利用案内の配布

県外の教育委員会の実地踏査の受け入れ

出前授業・オンライン授業の案内ちらしの配布

コ ホームページの充実

企画展の紹介や資料一覧・資料画像等、掲載情報の充実

イベントや休館日を確認できる開館カレンダーの掲載

Facebook・X（旧 Twitter）等 SNS の更新

サ 群馬の森来園者に対する広報の充実

公園入口へのポスター掲示

(7) 刊行物の発行

	名 称	規格・頁数	部数
書籍	第 108 回企画展「れきはく生き物大集合☆」図録	B 5 変形 9 6 頁	1,400
	第 109 回企画展「温泉大国ぐんま」図録	A 4 1 5 0 頁	1,200
	紀要第 4 4 号	A 4 1 3 6 頁	900
	年報第 4 4 号	A 4 4 6 頁	50
パンフレット類	群馬県立歴史博物館カレンダー(2024-2025)	A 4 巻き三つ折り	30,000
	第 108 回企画展「れきはく生き物大集合☆」リーフレット	A 4 二つ折り	10,000
	第 109 回企画展「温泉大国ぐんま」リーフレット	A 4 二つ折り	10,000
	新春特別展「新春はにわ祭り」リーフレット	A 4 二つ折り	5,000
	子どものための特集展示「昭和のくらし」リーフレット	A 3 二つ折り	3,000
	春の特別収蔵品展「だるまさん大集合」リーフレット	A 4 二つ折り	5,000
	令和 6 年度学校向け利用案内	A 3 二つ折り	7,000
	学校団体向け展示見学ワークブック「れきしたんけん」	B 5 8 頁	4,000
	学校団体向け展示見学ワークブック「はにわ・古墳探検」	B 5 8 頁	4,000
	チャレンジれきはくワークシート A・B・C	B 5 8 頁	各 3,000
ちらし	第 108 回企画展「れきはく生き物大集合☆」ちらし	A 4	27,000
	第 109 回企画展「温泉大国ぐんま」ちらし	A 4	27,000
	新春特別展「新春はにわ祭り」・子どものための特集展示「昭和のくらし」ちらし	A 4	27,000
	子どものための特集展示「昭和のくらし」ちらし	A 4	17,000
	春の特別収蔵品展「だるまさん大集合」ちらし	A 4	27,000
	「夏のれきはく 発見!れきはくの生き物☆」ちらし	B 5	95,000
	「冬のれきはく はにわ・昭和のくらしたんけん」ちらし	B 5	95,000
ポスター	第 108 回企画展「れきはく生き物大集合☆」ポスター	B 2	1,900
	第 109 回企画展「温泉大国ぐんま」ポスター	B 2	1,900
	新春特別展「新春はにわ祭り」・子どものための特集展示「昭和のくらし」ポスター	B 2	1,900
	春の特別収蔵品展「だるまさん大集合」ポスター	B 2	1,900

3 調査・研究

(1)資料調査

ア 趣旨

群馬の歴史や文化を考える上で、有益な各種資料の調査を「令和5年度群馬県立歴史博物館資料調査員の設置並びに資料調査実施要領」に基づいて実施した。

(ア) 資料調査の目的

博物館内外の資料調査や調査研究あるいは、展示手法や教育プログラムの閲覧等を行い、博物館活動の充実をはかる。

(イ) 資料調査員

資料調査員は、研究者及び有識者の中から委嘱する。

資料調査員は、考古・歴史・美術工芸・民俗の各部門について適任者を選定する。

委嘱の期間は、令和5年6月20日から令和6年3月31日までとする。

イ 調査テーマ一覧

No	分野	調査テーマ	調査員	担当職員
1	考古	藺田芳雄関係資料の基礎的調査	関根 史比古(1)	石田 典子
2	考古	尾崎喜左雄博士収集考古資料の基礎的調査	飯田 浩光(2) 迫田 睦生(3)	深澤 敦仁
3	美術工芸	令和8年度春の特別収蔵品展「上州の書と書画(仮)」の調査研究	前川 千里(4)	森田 真一
4	民俗	都丸九一資料の基礎的調査	井坂 優斗(5) 伊藤 克枝(6) 瀧澤 典枝(7) 永島 政彦(8)	武藤 直美

(1) 安中市みりよく創出部文化財課、(2) (公財)群馬県埋蔵文化財調査事業団、(3) (公財)群馬県埋蔵文化財調査事業団、(4) 佐久市立近代美術館、(5) 館林市市史編纂センター、(6) 富岡市教育委員会、(7) 岩宿博物館、(8) 群馬県立高崎高等学校

(2)調査研究

博物館活動及び館職員の資質向上に資するために、今年度の調査研究計画を決定し実施した。

令和5年度調査研究テーマ一覧

No	氏名	分野	テーマ
1	森田 真一	歴史	中世東国上杉氏の研究
2	佐藤 有	歴史	明治前期の養蚕技術について 村落と古墳の関係について
3	武藤 直美 井坂 優斗(1)	民俗	都丸九一資料の基礎的調査

	伊藤 克枝 (2) 瀧沢 典枝 (3) 永島 政彦 (4)		
4	中村 みき 青森 小百合 原 千紘 土屋 宏晃	教育普及	オンラインで子どもと歴史・文化財をつなぐ

(1) 館林市市史編纂センター、(2) 富岡市教育委員会、(3) 岩宿博物館、(4) 群馬県立高崎高等学校教諭

(3)各調査研究部門

ア 考古部門

- (1) の資料調査のとおり、各職員が資料調査を行った。
- (2) の調査研究のとおり、各職員が調査研究を行った。

イ 歴史部門

- (2) の調査研究のとおり、各職員が調査研究を行った。

ウ 民俗部門

- (1) の資料調査のとおり、職員が資料調査を行った。
- (2) の調査研究のとおり、職員が調査研究を行った。

エ 美術工芸部門

- (1) の資料調査のとおり、各職員が資料調査を行った。

オ 教育普及部門

- (2) の調査研究のとおり、各職員が調査研究を行った。

(4)紀要

『群馬県立歴史博物館紀要第45号』を刊行した。A4判76頁内容は、以下のとおりである。

『群馬県立歴史博物館紀要第45号』執筆稿一覧

NO	執筆者	表題	種別		
1	江原 幸太郎	多言語対応ウェブアプリ《G-歴博なび》の開発	和文横書	9頁	研究ノート
2	江原 幸太郎	第109回企画展「温泉大国ぐんま」の運営－温泉文化と博物館展示－	和文横書	11頁	報告
3	佐藤 有	近世村落空間のなかの古墳－上野国緑埜郡上落合村と七興山古墳－	和文横書	16頁	論文

4	佐藤 有	明治前期の地方勸業政策と養蚕技術—群馬県を中心に—	和文横書	20頁	論文
5	右島 和夫 深澤 敦仁	群馬県の古墳研究における尾崎喜佐雄博士調査収集資料の意義	和文横書	20頁	論文

(5)企画展プロジェクト・企画展委員会

ア 第110回企画展

(ア) プロジェクト委員等

西川 武臣 氏（横浜開港資料館）

中島 秀規 氏（群馬県立世界遺産センター）

軽部 達也 氏（藤岡市教育委員会）

右島 和夫・宮下 智夫・安達 紫乃・深澤 敦仁・中村 みき・佐藤 有（群馬県立歴史博物館）

(イ) 委員会等の開催

プロジェクト委員会を2回開催し、企画展の展示構成や展示品の検討を行った。

全体検討会

日 時：令和5年7月28日（火）14時～17時

会 場：群馬県立歴史博物館 会議室、企画展示室

内 容：企画展の構成、展示品の検討

展示指導

日 時：令和6年2月13日（火）14時～16時

場 所：群馬県立歴史博物館 会議室、企画展示室

内 容：企画展の構成、展示品及び展示方法の検討

イ 第111回企画展

(ア) プロジェクト委員等

設楽 博己 氏（東京大学 名誉教授）

大木 紳一郎 氏（公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団 専門調査役）

関根 史比古 氏（安中市みりょく創出部文化財課 主事）

齋藤 直樹 氏（藤岡市教育委員会文化財保護課 主事）

右島 和夫・宮下 智夫・安達 紫乃・深澤 敦仁・中村 みき・森田 真一・江原 幸太郎

石田 典子（群馬県立歴史博物館）

(イ) 委員会の開催

今年度は全体検討会を3回開催し、展示構成及び展示資料の選定、レイアウト、関連行事等について検討を行った。

第1回

日 時：令和5年10月11日（水）13：30～16：30

会 場：群馬県立歴史博物館 会議室

議 題：展示構成や展示資料の選定、レイアウト、関連行事について

第2回

日 時：令和5年12月20日（水）13：30～15：45

会 場：群馬県立歴史博物館 会議室

議 題：展示構成や展示資料の選定、レイアウト、関連行事、図録の執筆、タイトル案の検討、
パネル案の検討について

第3回

日 時：令和6年3月15日（金）13：30～15：50

会 場：群馬県立歴史博物館 会議室

議 題：展示構成や展示資料の選定、レイアウト、パネル案・図録案の検討、副題の検討

(6) 社会貢献と個別研究

ア 博物館実習の受入

博物館実習を以下のように行った。

期 間：令和5年8月22日（火）～9月1日（金）

※8月26～28日を除く8日間実施した

内 容：博物館の業務と目的を理解するために必要な事項
学芸員の仕事への理解を深める事項

その他、博物館に関する事項

実習生数：11名

イ 講演会への出講

No.	職員名	日時	内容		場所		参加者数
			事業名	タイトル	会場	所在地	
1	深澤敦仁	令和5年7月7日(金)	太田市立太田中学校 出前授業	古墳から考える“群馬”の名の由来	太田市立太田中学校	群馬県太田市	120
2	深澤敦仁	令和5年7月11日(火)	未来テング2023	多様なニーズに対応する為にデジタルを用いた博物館のマネジメント改革について	MG CAMP	東京都文京区	30
3	深澤敦仁	令和5年7月15日(土)	古代シシリーズ 今、激動の古墳時代が面白い!!	「馬」と古墳時代の群馬の深い関係	茨城県北生涯学習センター	オンライン	30
4	深澤敦仁	令和5年10月24日(火)	小・中学校初任者研修・社会	県内の遺跡の活用について 「群馬」のルーツは古墳時代	群馬県総合教育センター	群馬県伊勢崎市	20
5	深澤敦仁	令和5年10月25日(水)	伊勢崎市殖蓮公民館 市民講座	多田山の唐三彩と古代佐位郡の関わり	伊勢崎市殖蓮公民館	群馬県伊勢崎市	30
6	深澤敦仁	令和5年11月18日(土)	神奈川大学エクステンション講座 考古学が描きだす ヤマタイ国時代の列島の姿Ⅶ	卑弥呼の時代と上毛野における古墳時代の始まり	神奈川大学みなとみらいキャンパス	神奈川県横浜市	45
7	深澤敦仁	令和5年11月19日(日)	大泉町立図書館歴史講座	大泉町の古墳はここがすごい! 古墳王国群馬の一翼を担う大泉町の古墳文化	大泉町立図書館	群馬県邑楽郡大泉町	40
8	深澤敦仁	令和5年12月5日(火)	岩鼻地区歴史学習会	地域の宝・国宝綿貫観音山古墳の出土品について	高崎市岩鼻公民館	群馬県高崎市	20
9	深澤敦仁	令和6年1月27日(土)	歴史と文化を学ぶ会 講演会	北へ向かう 上毛野の古墳文化	高崎市吉井文化会館	群馬県高崎市	140
10	深澤敦仁	令和6年3月10日(日)	「榛名山噴火関連遺跡」ガイド養成講習会	榛名山噴火関連遺跡と人馬共生	渋川市北橋行政センター	群馬県渋川市	100
11	森田真一	令和6年3月2日(土)	第2回歴史講演会	越後上杉房定と関東	新潟県立文書館	新潟県新潟市	86
12	佐藤有	令和5年5月1日(月)	東京都立武蔵高等学校附属中学校「地球学講演会」	群馬県の歴史と文化	東京都立武蔵高等学校附属中学校	東京都武蔵野市	161

13	佐藤有	令和6年1月27日(土)	長野県立歴史館企画展講演会	近代日本の蚕糸技術 －「富岡製糸場と絹産業遺跡群」と長野－	長野県立歴史館	長野県千曲市	123
14	佐藤有	令和6年2月17日(土)・18日(日)	第10回全国史料ネット研究交流集会	博物館と歴史資料の継承 －近年の群馬県立歴史博物館の歴史資料の受け入れ過程を事例に－	一橋大学	東京都国立市	478 注1
15	江原幸太郎	令和6年3月12日(火)	総社歴史勉強会	温泉大国ぐんま～まだまだ知らない群馬の温泉～	前橋市総社公民館	群馬県前橋市	30

注1：両日の対面・オンライン参加者の合計

4 資料の収集・整理

(1) 資料整理

ア 考古部門

資料の整理については、資料目録のデータを収蔵品管理システムにすべてに移動し、重複及び不足データを補う作業を行った。併せて収蔵資料の整理を行った。

イ 歴史部門

資料の収集については、個人から2件の資料を受入れ整理し目録の作成を行った。

ウ 民俗部門

台帳と収蔵資料管理システムに入力済みの資料の整合確認作業を実施した。令和元年度末に受け入れを行った都丸九十九資料の整理を進めた。新規受け入れ資料である郷土玩具資料に関する資料整理を実施した。

エ 美術工芸部門

収蔵資料の配架整理及び台帳との整合確認を実施した。

(2) 保存管理

資料整理及び管理は各研究室・収蔵庫・展示室ごとに行われるが、共通事項として保存環境の整備・資料の修復があり、以下の事業を行った。

ア 保存環境の整備

- ・収蔵庫・展示室の温湿度調整・記録（機械自動管理とデータロガーによる）
- ・虫菌害防止対策として、収蔵庫・展示環境の測定（飛来虫などを館職員で捕獲し記録）や清掃、整理整頓等の日常管理
- ・資料燻蒸（企画展に伴い、燻蒸庫にて資料燻蒸を4回実施した）

イ 資料の修復及び保存修理

- ・刀剣資料約100振りと鉄砲資料約80挺の手入れを各1回実施した。
- ・歴史部門において、コントラバス・新田徳純筆《竹図》の修復を実施した。
- ・美術工芸部門において、細田栄之《美人図》の修復を実施した。

ウ 公開承認施設の承認について

2024年の公開承認施設の承認申請に向けて、日常管理体制及び危機管理マニュアルの見直しを実施した。

(3) 収集資料

本年度の収集資料は、寄贈資料256点、購入資料0点、移管資料2点、採集資料0点で、合計258点。総計102,428点となる。

ア 令和5年度所蔵資料集計

部門	自然	考古	歴史	美術工芸	民俗	教育普及	合計
	件点	件点	件点	件点	件点	件点	件点
寄贈資料	0-0	0-0	2-67	3-5	2-184	0-0	7-256
購入資料	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0
移管資料	0-0	0-0	1-1	1-1	0-0	0-0	2-2
採集資料	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0
令和5年度	0-0	0-0	3-68	4-6	2-184	0-0	9-258
総計	129	32,892	46,391	2,658	19,228	1,130	102,428

今年度寄贈数	0	0	67	5	184	0	256
今年度購入数	0	0	0	0	0	0	0
今年度移管数	0	0	1	1	0	0	2

イ 寄贈資料 7件 256点

No.	部門	資料名称	点数	寄贈者	住所	
1	1	民俗	郷土玩具（金子コレクション）	172	個人	前橋市
2	1	民俗	郷土玩具（松川ダルマ他）	12	個人	高崎市
3	1	歴史	外套	1	個人	高崎市
4	1	歴史	須田正吉関係資料	66	個人	高崎市
5	1	美工	太刀 銘 長光など	3	個人	前橋市
6	1	美工	阿弥陀如来像（上染屋八幡神社蔵）複製	1	全国里見一族交流会	千葉県館山市
7	1	美工	手鑑	1	個人	前橋市

ウ 購入資料 0件

エ 移管資料 2件 2点

No.	部門	資料名称	点数	移管者	住所	
1	1	歴史	旗（赤城国体関係）	1	群馬県教育委員会事務局西部教育事務所	高崎市
2	2	美工	アルバム	1	群馬産業技術センター	前橋市

オ 採集資料 0件

カ 寄託資料 2件 42点

No.	部門	資料名称	点数	寄託者	住所	備考
1	1	美工	金箔押切付小札色々威赤玉文様二枚胴具足	1	大室神社	前橋市 新規
2	1	美工	笹塔婆	41	草津町教育委員会	草津町 新規

5 利用状況

(1)利用者数

ア 月別利用者数

月 (開館日数)	4月 (14)	5月 (27)	6月 (22)	7月 (22)	8月 (25)	9月 (25)	10月 (22)	11月 (23)	12月 (11)	1月 (22)	2月 (0)	3月 (8)	計 (227)	
観 覧 者	一 般	1,507	2,883	1,489	2,945	5,037	1,382	3,885	2,513	1,854	4,908	0	806	29,209
	高・大学生	26	100	127	130	277	113	63	248	53	140	0	42	1,319
	小・中学生	189	1,093	1,840	1,126	2,631	1,129	1,150	1,127	1,028	1,528	0	215	13,056
	幼 年 者	61	126	82	355	478	72	178	65	191	349	0	48	2,005
	身 障 者	82	136	67	185	338	88	137	140	110	248	0	48	1,579
	小 計	1,865	4,338	3,605	4,741	8,761	2,784	5,413	4,093	3,236	7,173	0	1,159	47,168
教育普及事業参加者	497	2,057	3,419	4,457	9,396	2,413	2,925	2,778	4,355	7,437	833	306	40,873	
計	2,362	6,395	7,024	9,198	18,157	5,197	8,338	6,871	7,591	14,610	833	1,465	88,041	
累 計	2,362	8,757	15,781	24,979	43,136	48,333	56,671	63,542	71,133	85,743	86,576	88,041		

※ 展示室設備改修のため臨時休館（令和6年1月29日～3月22日）

イ 教育普及事業参加者内訳(個人・団体)

月 (開館日数)	4月 (14)	5月 (27)	6月 (22)	7月 (22)	8月 (25)	9月 (25)	10月 (22)	11月 (23)	12月 (11)	1月 (22)	2月 (0)	3月 (8)	計 (227)
行事参加者	497	959	461	3,918	9,396	525	1,125	792	4,326	6,790	833	306	29,928
学校団体行事参加者	0	1,098	2,958	539	0	1,888	1,800	1,986	29	647	0	0	10,945
計	497	2,057	3,419	4,457	9,396	2,413	2,925	2,778	4,355	7,437	833	306	40,873
累 計	497	2,554	5,973	10,430	19,826	22,239	25,164	27,942	32,297	39,734	40,567	40,873	

※出張浮世絵授業、オンライン授業参加者数は、行事参加者に含まれている

ウ 学校団体等行事参加者内訳(複数のプログラムに参加の学校もあり)

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
(開館日数)		(14)	(27)	(22)	(22)	(25)	(25)	(22)	(23)	(11)	(22)	(0)	(8)	(227)
体験学習	浮世絵多色刷り		422	1,407	254		439	141	121	29				2,813
	火おこし体験		247	176					72					495
	昔の道具体験			76			412	577	601		268			1,934
	その他													0
展示学習	れきしたんけん			76			380	614	698		235			2,003
	はにわ・古墳探検		429	1,147	285		309	78	72					2,320
	くらしと明かり			76			348	390	422		144			1,380
計		0	1,098	2,958	539	0	1,888	1,800	1,986	29	647	0	0	10,945
累計		0	1,098	4,056	4,595	4,595	6,483	8,283	10,269	10,298	10,945	10,945	10,945	

エ 団体利用者数

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
(開館日数)		(14)	(27)	(22)	(22)	(25)	(25)	(22)	(23)	(11)	(22)	(0)	(8)	(227)
一般	団体数	3	4	2	7	5	5	3	9		1		1	40
	人数	66	128	33	164	116	125	41	254		31		17	975
高・大生	団体数		1	5	1	1	2	2	4					16
	人数		7	84	11	19	43	10	189					363
中学生	団体数					1				1	1		1	4
	人数					11				50	4		33	98
小学生	団体数		10	23	4		15	14	16	1	7			90
	人数		833	1,817	312		1,057	826	970	31	292			6,138
幼年	団体数		1		1									2
	人数		21		16									37
身障	団体数		1		7	20		3	3	2	6		4	46
	人数		10		162	280		25	33	28	68		77	683
社教等	団体数	6	1	1	7	4		2	2		1			24
	人数	158	63	16	186	109		40	137		24			733
計	団体数	9	18	31	27	31	22	24	34	4	16	0	6	222
	人数	224	1,062	1,950	851	535	1,225	942	1,583	109	419	0	127	9,027
招待者		112	232	79	151	348	18	2,089	307	54	336	0	15	3,741

オ 館外開催学校団体等行事参加者数

月 (団体数)	4月 (-)	5月 (-)	6月 (-)	7月 (-)	8月 (-)	9月 (-)	10月 (-)	11月 (4)	12月 (8)	1月 (-)	2月 (8)	3月 (-)	計 (20)
出張！ 浮世絵体験								164	566		582		1,312

カ 観覧者数

タイトル	開催期間 (日数)	有料観覧者	無料観覧者	合計
春の特別収蔵品展 安中藩の名奉行	4/15 ~ 6/4 (45)	2,917	2,934	5,851
第108回企画展 れきはく生き物大集合	7/8 ~ 8/27 (45)	5,166	6,597	11,763
第109回企画展 温泉大国ぐんま	10/7~11/26 (44)	2,210	6,001	8,211
新春特別収蔵品展 新春はにわ祭り 子どものための特集展示 昭和のくらし	12/16 ~ 1/28 (33)	5,966	4,314	10,280
常設展	(227)	6,871	4,192	11,063

(2)資料の特別観覧

下記の資料 37 件について特別観覧の申請があり承認した。

No.	資料名称	考古	歴史	美工	民俗	その他	計
1	塚廻り古墳群出土 馬形埴輪	1					1
2	松田鑽氏考古資料	335					335
3	高山社・養蚕学校関係資料		10				10
4	短刀 金粉銘当麻 附 黒漆塗合口拵、黒漆塗朱葵紋刀箱			1			1
5	舞台1号墳出土 家形埴輪(切妻)、家形埴輪(切妻)	2					2
6	綿貫観音山古墳出土品	35					35
7	千網谷戸遺跡出土土器	一括					一括
8	舞台1号墳出土 高坏	13					13
9	川内天王塚古墳出土 円頭大刀	1					1
10	森山家寄託資料		6				6
11	オニオロシ				3		3
12	茶臼山古墳出土 埴輪 家・冢形埴輪複製資料	7					7
13	伝大黒塚古墳出土 乳文鏡 高崎市八幡原町若宮出土 六鈴鏡 古海原前1号墳出土 画文帯神獸鏡 中溝・深町遺跡出土 内行花文鏡	4					4
14	島田家日記		22				22
15	土岐家文書 上杉謙信書状 土岐大膳大夫宛 (No. 29)		1				1
16	長楽寺文書		11				11
17	考古資料2点 (G-27-2, G477)	6					6
18	歴史資料(高山社関係資料) 25点		25				79
19	小林家文書		9				9
20	劍崎天神山古墳出土 石製模造品 一括	79					79
21	新田家資料 義貞軍記		1				1
22	土岐家文書		1				1
23	高山社・養蚕学校関係資料		27				27
24	富岡製糸場関連版画			5			5
25	高山社・養蚕学校関係資料		2				2
26	前橋天神山古墳出土武器複製品	一括					一括
27	春日蝶関係資料		一括				一括
28	不動山古墳、大鶴巻古墳出土埴輪	一括					一括
29	妹ヶ谷不動尊獅子頭				3		3
30	甘楽町三ツ俣遺跡出土銅戈破片	1					1
31	石製模造品(鶴山古墳26点、高崎一号墳1点、舞台1号墳84点)	111					111
32	綿貫観音山古墳出土 須恵器	28					28
33	天満宮 本社幣殿拝殿妻之図			1			1
34	山崎義男コレクション	92					92
35	浅間山吹出之絵図(二)、浅間焼吾妻川利根川泥押絵図		2				2

36	榛名湖開鑿書類、庶務書類（長野堰普通水利組合）2点				3							3
37	綿貫観音山古墳出土 獣帯鏡 他一式	一式										一式

(3)資料の貸し出し許可

下記の資料89件について借用の申請があり承認した。

貸出No.	資料名称	考古		歴史		美工		民俗		その他		計	
		実物	写真	実物	写真	実物	写真	実物	写真	実物	写真	実物	写真
1	「脇差 上州前橋住源吉信作」、「刀 秋弘」、「刀 中山一貫斎義弘」、「薙刀 武英ヨシ」計4点					4						4	
2	八束脛洞窟遺跡出土資料 計19点	19	19									19	19
3	「由良成繁・同国繁連署書状」画像データ1点				1								1
4	「神保植松城復元模型」画像データ1点				1								1
5	「ハナ（藤岡市金井他）」5点、「ハナ（中之条町六合）」1点、「チヂレバナ（中之条町大塚他）」3点 画像データ計9点								9				9
6	山王庵寺出土 「緑釉手付水注」、「緑釉碗」、「緑釉段皿」計3点	3	3									3	3
7	「木曾海道六拾九次之内高崎」画像データ1点												1
8	刀展示台 1点					1						1	
9	塚廻り3号墳出土 埴輪「倚座する女子像」画像データ1点		1										1
10	「村上義清書状（天文17年2月22日付）」画像データ1点				1								1
11	「三論絵詞」画像データ1点							1					1
12	「浅間焼吾妻川利根川泥押絵図」画像データ1点				1								1
13	「新田温純猫絵」画像データ1点								1				1
14	綿貫観音山古墳出土 埴輪「三人童女」画像データ1点		1										1
15	「和田昌繁書状（佐藤文書）」画像データ1点				1								1
16	「銅鍍金経筒」1点	1	1									1	1
17	ブルーノアウト関連資料 画像データ8点							8					8
18	「松平直基像（孝頸寺蔵）画像データ1点							1					1
19	舞台1号墳出土 「家型埴輪」1点	1	1										
20	「信興座像」画像データ1点				1								1
21	神保植松城模型 画像データ2点										2		2
22	・綿貫観音山古墳出土「正坐する女性」、「合掌する男子」、「三人童女」、「皮袋をもつ女子」、「振分け髪の男子」、「挂甲武人」、「飾り馬」の3D画像計7点 ・「盾持ち人」「馬子」「帽子」「家」「鍬を担ぐ男子」「盾」「朝顔形埴輪」「普通円筒埴輪」画像データ計8点		15										15
23	島霞谷関係資料 画像データ1点							1					1
24	綿貫観音山古墳出土埴輪、塚廻り古墳群出土埴輪、高塚古墳出土埴輪 画像データ計12点		12										12
25	高塚古墳出土 「武人埴輪」、「弓形埴輪」画像データ計2点		2										2
26	「三論絵詞」画像データ1点								1				1
27	塚廻り3号墳出土 埴輪「大刀を持つ女子人物」画像データ1点		1										1
28	綿貫観音山古墳出土品 一括	18	17									18	17

61	「天明三年浅間大焼泥流利根川流下絵図」 画像データ1点			1					1
62	「役用日記（新居喜左エ門）全10冊の 内、四番」画像データ一括			1					1
63	綿貫観音山古墳出土品「埴輪」 画像データ1点	1							1
64	「二之宮カルタ（前橋市立二之宮小学 校）」1箱、「元総社郷土かるた（前橋市 立元総社小学校）」1箱、「吉井カルタ （吉井町教育委員会）」1箱、「宮郷かる た（伊勢崎市立宮郷小学校）」1箱、「実 用果実かるた（群馬県立藤岡北高等学 校）」1箱。「上毛かるた競技県大会優勝 旗 中学生の部」1棟、「上毛かるた 原 画」一式、「上毛かるた 原画 ポジフィ ルム」一式、「上毛かるた4点色刷一枚 版 画像データ」1点					一括	一括		一括 一括
65	「オニオロシ」画像データ2点						2		2
66	塚廻り4号墳出土 埴輪「飾り馬」 画像データ1点	1							1
67	綿貫観音山古墳出土品「副葬品」 画像データ1点	1							1
68	「享保雛」画像データ1点						1		1
69	「鍾馗のぼり」画像データ1点						1		1
70	「デジタル埴輪展示室」画像データ1点			1					1
71	宮崎県伊達市武ノ内遺跡出土「土偶」 画像データ3点	3							1
72	「引札（亀樹屋店頭図、雛人形手遊問 屋）」画像データ2点						2		2
73	「天明三年浅間大焼泥流利根川流下絵図」 画像データ1点			1					1
74	「浅間焼吾妻川利根川泥押絵図」 画像データ1点			1					1
75	「金銀装頭椎大刀」画像データ計2点	2							2
76	「上野国碓氷郡上磯部村中野谷村就野論裁 断之覚」画像データ1点			1					1
77	「版画 木曾海道六拾九次之内 高崎」 画像データ1点				1				1
78	「新居喜左衛門日記」画像データ一括			一括					一括
79	塚廻り4号墳出土 埴輪「大刀を持つ女 子」画像データ1点	1							1
80	塚廻り3号墳出土 埴輪「椅子に座る女 子」画像データ1点	1							1
81	「甲を着た古墳人 複顔像」、「首飾りを した女性 複顔像」画像データ計2点	2							2
82	「上州富岡製糸場」画像データ1点				1				1
83	「天満宮 本社幣殿拜殿妻之図」画像デー タ1点				1				1
84	「皇国養蚕図絵」、「新田道純猫絵」、 「衣笠明神初絵」、「どんど焼き」、「繭 玉かざり」画像データ計5点						5		5
85	綿貫観音山古墳出土「埴輪群像」、「埴輪 振り分け髪的男子」、「埴輪 胡坐を組む 男子」画像データ3点	3							3
86	「永禄九年五月十二日付・上杉輝虎書 状」、「永禄九年十一月二十日付・上杉輝 虎書状」（富岡家文書）画像データ計2点			2					2
87	「下河田檢地帳複製」1点			1					1
88	「三光院十一面観音」1点			1					1
89	塚廻り4号墳出土 埴輪「飾り馬」 画像データ1点	1							1

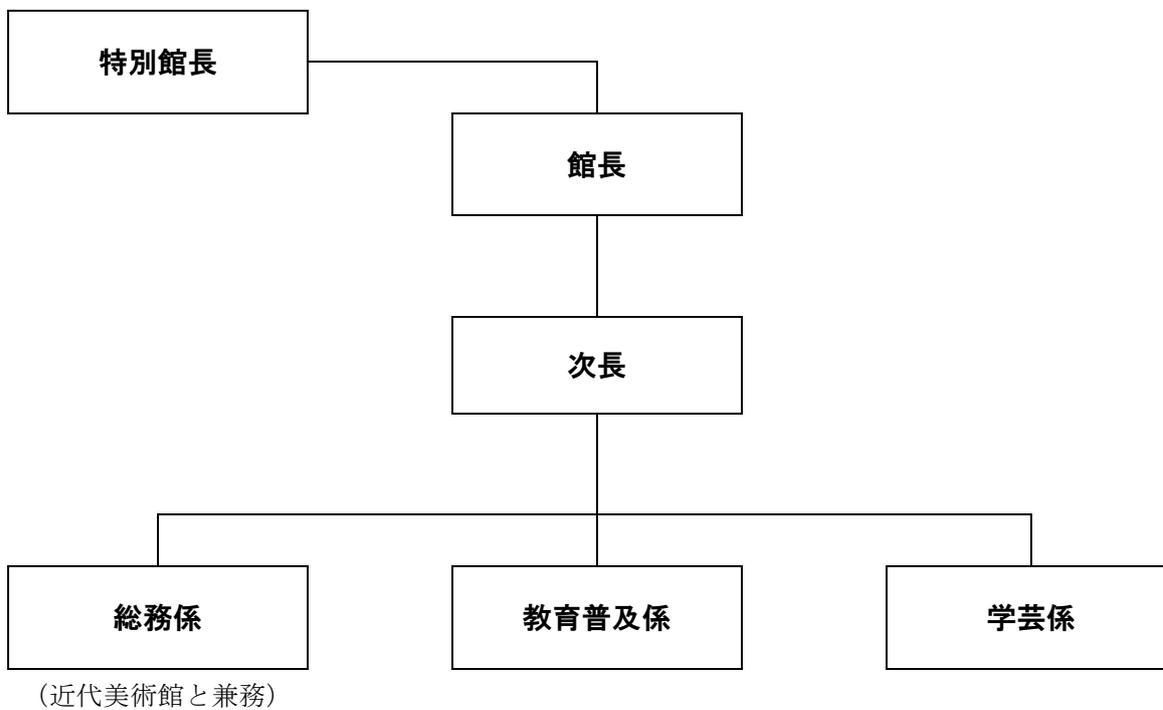
(4)資料の掲載許可

下記の資料16件について掲載許可の申請があり承認した。

No.	資料名称	考古		歴史		美工		民俗		その他		計	
		写真	他	写真	他	写真	他	写真	他	写真	他	写真	他
1	塚廻り古墳群出土「椅子に座り杯を捧げる巫女」、「馬子と馬形埴輪」、「椅子に座り帽子をかぶる男」 画像データ計3点	3										3	
2	綿貫観音山古墳出土品 埴輪「人物群像」 画像データ1点	1										1	
3	G 歴博なび ポスター 画像データ1点									1		1	
4	「上野国印（平安時代）」画像データ1点	1										1	
5	「浅間焼吾妻川利根川泥押絵図」画像データ1点			1								1	
6	「延別緑印銘銅印」、「佐野舟橋の錦絵（葛飾北斎「かうつけ佐野ふなはしのこづ）」、藤原宮跡出土「上毛野国車評桃井里大贄帖 銘木簡（複製品）」 画像データ計3点	2				1						3	
7	当館令和4年度春の特別展「高崎藩のお殿様」会場配布資料(Q&A)より イラスト 大河内輝貞 画像データ1点									1		1	
8	綿貫観音山古墳出土品 「副葬品」、「埴輪群」 画像データ計2点	2										2	
9	「延別緑印」銘銅印、佐野舟橋の錦絵（葛飾北斎「かうつけ佐野ふなはしのこづ）」、藤原宮跡出土の「上毛野国車評桃井里大贄帖 銘木簡（複製品）」 画像データ計3点	2				1						3	
10	雷伝神社跡古墳出土「馬形埴輪」 画像データ1点	1										1	
11	「永泰公主 前室東壁北側 宮女図」、「永泰公主 前室東壁南側 宮女図」 画像データ計2点					2						2	
12	綿貫観音山古墳出土品 「銅水瓶」 画像データ1点	1										1	
13	「米軍空襲予告ビラ（表裏）」、「マリアナ時報 号外（表裏）」画像データ計4点			4								4	
14	金井東裏遺跡「甲を着た古墳人」、「首飾りの古墳人」画像データ計2点	2										2	
15	「茶の間」、「電気炊飯器」画像データ計2点									2		2	
16	「石鏃（群馬県堀之下出土）」、「石鏃（群馬県西新井遺跡出土）」、「打製石斧（同）」、「磨製石斧（同）」 画像データ計4点	4										4	

II 組織及び運営(令和5年4月1日現在)

1 運営組織



2 歳出・歳入決算概要

(1) 歴史博物館費

単位：千円

事業名	決算額	内 訳			左のうち特定財源	
		事項名	内 容	金額	金額	内 訳
歴史博物館運営	145,405	会計年度任用職員経費	特別館長、会計年度任用職員人件費	35,030	152	雇用保険料個人負担分
		館管理運営	施設設備保守、光熱水費他事務経費	110,375	127	建物使用料
博物展示	32,785	常設展示	展示制作・写真撮影	7,537	1,437	図録販売収入
		企画展示	展示制作・図録作成	25,248	9,850	歴博入館料
教育普及活動	2,934	学校教育連携推進	学校向け展示見学用資料作成、学習プログラム実施	1,619		
		れきはくアカデミー	一般向け体験学習実施、博物館広報	1,315		
調査研究	4,754	資料収集管理	資料収集、収藏品管理、資料情報システムの運用	1,865	60	紀要販売収入
		調査研究活動	資料調査、研究紀要作成	2,325		
		情報システム整備	収蔵資料管理・公開システムの構築	564		
合計	185,878				11,626	

群馬県立歴史博物館 年報

第45号（令和5年度版）

令和6年 11月21日発行

発行：群馬県立歴史博物館

〒370-1293 高崎市綿貫町992-1

TEL (027) 346-5522

FAX (027) 346-5534